

交流コーナー

自費出版顛末記

卒業50周年 名古屋工業会理事・計測会顧問
大鹿 秀正 (F47)

1. はじめに

2020年5月に「駅伝と仕事—トヨタ社内駅伝ラストランの奇跡」(下記写真)を自費出版した。出版構想時には、ジャンルとして、“小説”も頭をかすめた。だが、最終的には“自分史”になった。出版してまもなく面識のない30代の読者から「どこのページを開いても役立つような言葉ばかりなので、これから愛読書にします」というお手紙をいただいた。これはホントに嬉しい出来事だった。

出版のきっかけは、2015年1月にトヨタを退職するときに、駅伝チームの有志30人に「駅伝と仕事」というタイトルで特別講演を実施したこと。当時トヨタの取締役会長でプリウス開発者の内山田竹志さんに退職のご挨拶をした。そのとき、講演資料をお見せして「面白いから本にして出したらどうだ」と背中を押していただいた。



駅伝と仕事—トヨタ社内駅伝ラストランの奇跡

2. 同窓会・大学との関係

2020年5月、当時計測会会長だった守田賢一さん(F47)が、学生に計測会賞を授与する際に、この本をPRしてくれた。そのあと、「読んでみたい読者は大鹿さんまで連絡ください」と会員に呼び掛けてもらう。本をまっさきを買ってくれたのが、計測会役員だった。

トヨタごきそ計測会(職域現役&OBで100名を超える)には幹事をお願いして希望者20名に、本を配ってもらった。1回生の石寺孝先輩(F39)は、ご近所だったので、ご自宅まで本をお届けした。次の日には、「すぐに読めた」という感想を頂戴して感激した。ごきそ計測会の2021年新人からは「人として大切なことが記されており、ハッとさせられる内容が幾つもある」という嬉しい手紙をもらった。

計測工学科の故 後藤秀雄先生の「最適化」とトヨタの「エンジン制御」が産学連携プロジェクトの走りとして自動車技術会で表彰された。本で触れたこのエピソードを2021年12月「産業論」講義で披露したら、学生から一番反響があった。

70歳を過ぎてから、「産業論」講義ができるきっかけとなったのは種村真幸先生(F56)と「駅伝と仕事」だった。

3. 出版に関連するあれこれ

出版に当たり、「自分はこの本を誰に一番読んでもらいたいのか？」を自問自答した。答えは「後輩の学生」だった。

新入社員時代や、東富士研究所時代などのできごとは当時の日記や手帳を読み返しながら参考にした。3回目ラストランまで、実は自慢にならない失敗談ばかりだ。駅伝コース攻略のポ

イントなど後輩に伝えたい思いがアイウエオ作文になっている。

原稿執筆中は、「テレビや新聞に少しでも関係しそうなネタはないか」といつもよりアンテナを張っていた。2016年末にはテレビで、マツコデラックスの東富士研究所訪問が紹介された。その時の豊田章男社長が駅伝大会に向けて走る選手を紹介するシーンから第1章「私の社内駅伝40年史」が始まった。

「もらった本は読まないから、100円でもいいから売った方がいい」と出版社から助言あり。編集者からは「千円の価値はある」とおだてられて、本に頒価1000円と明記。発行日ほぼ予定通り、我が家に契約の300冊が段ボールで届いて、女房を困惑させた。それからはずっと、郵便局通いの毎日となった。「面白かったけど1000円の価値はないね」という正直な感想もあり。出版への挑戦は成功だった。自分が成功と思えば失敗ではない(笑)

4. 野球との縁

本の随所に野球のエピソードが登場した。2019年9月計測会総会で中日ドラゴンズ伝説のスカウト法元英明さんに野球界のドラマを講演してもらった。これが代表例だ。2022年5月になって、名工大硬式野球部が3部リーグで優勝という嬉しいニュースが飛び込んできた。瑞穂野球場での2・3部入れ替え戦の名産大戦を、法元さんと並んで名工大応援席から応援。今でも高校野球から社会人野球のドラフト候補選手を見るためにどこでも出かける法元さんだった。

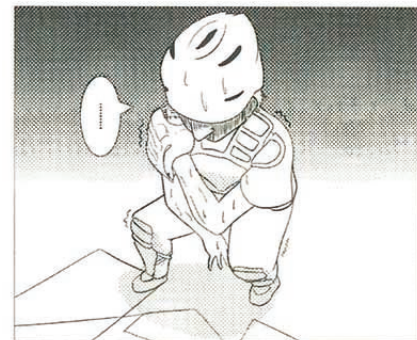
話は続いて、6月26日千種グラウンドへ守田さんと二人で硬式野球部を応援に行った。名工大硬式野球部長加藤禎人先生(D61)のノックを受けた。筆者のトスバッティングを手伝ってくれた選手が、「産業論」講義終了後に本と一緒に記念写真を撮ってくれた学生だったことには

驚いた。あれやこれやで、硬式野球部をさらに応援しようという気持ちを強くした。

愛知大学野球春季・秋季3部リーグ戦で優勝の好成績が評価されて、名工大2022年度挑戦的課外活動高度枠で硬式野球部が支援対象に選ばれたというニュースも嬉しかった。

5. おわりに

自費出版の経験により、人の輪が広がりました。名古屋工業大学及び同窓会の皆さんとの出会いとご縁に感謝します。もしこの寄稿文を読まれて、「自分も出版に挑戦しよう」という人がいらっしやったら望外の喜びです。最近では電子書籍も普及していますが、どんな形であれ出版の経験は何か得られるものがあると思います。



名工大漫画研究部作成
「駅伝と仕事—駅伝成功の秘訣」への挿絵
脱臼した筆者を描いた傑作です(笑)